

令和3年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
若年性認知症支援者研修会 オンライン開催 報告書

1. 研修会名：「令和3年度沖縄県若年性認知症支援推進事業 若年性認知症支援者研修会」
2. 目的：孤立しやすい若年性認知症の一人ひとりが、その状態に応じた切れ目のない適切な支援が受けられることを目的とする。若年性認知症支援コーディネーターの役割と支援・課題について周りに知って頂き、若年性認知症の支援連携のイメージが出来ることを目指す。
3. 主催：沖縄県（受諾 特定医療法人アガペ会）
4. 対象：若年性認知症の相談窓口職員（市町村役場担当職員・地域包括支援センター職員・認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チーム員・介護支援専門員・医療機関相談員・介護保険事業所の相談員など）、医療・福祉・就労関係者等
5. 方法：沖縄県若年性認知症支援推進事業について
①相談対応・本人とご家族の居場所づくり、②ネットワークの構築、③若年性認知症の理解を深めるための普及啓発活動、支援者研修会・一般講演会の開催について説明を実施する。
6. 日時：①令和4年2月28日（月） 14:00～16:00（入室 13:45～）
②令和4年3月3日（木） 14:00～16:00（入室 13:45～）
同じ研修を①②の日程で、2回開催致します。
7. 開催形式：①②Z o o m（①②各先着100名）
8. 参加費：無料
9. 申し込み方法：日付毎に申込フォームのQRコードを作成して、実施要項へ貼付け。又、特定医療法人アガペ会のホームページから申し込みできるよう準備した。
10. プログラム
司会進行・講師：若年性認知症支援コーディネーター
内容：若年性認知症支援コーディネーターの役割と支援・課題について

内 容		
1	役割について	3本の事業の柱・役割とは？
2	支援について	支援の取組と現状について
3	課題について	関係機関との支援連携の課題について

オンライン研修を行なうにあたり、一人で運営等研修会を進めるにあたり、参加者の確認等が難しかった。研修が終了したらアンケートが立ち上がるように、設定して準備したが、①2月28日開催の参加者7人の記載データしかクラウド上に残っておらず・・・後日、Googleにてアンケート・QRコードを再作成し参加者全員に再度、アンケートの依頼をするなどの対応に追われた。オンライン開催はメリットも大きいですが、準備したことが上手く進まないなどのデメリットも大きいと感じた。

研修内容はアンケートの結果から、理解を得られたと解釈している。

以上